

## 2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	フィジビリティスタディ小委員会		主 査 名：小林昭男 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会 (海洋研究推進運営委員会)		委員長名：登坂宣好 主 査 名：横内憲久
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2008 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アダプティブ海洋建築の技術的実現性の検討</li> <li>・アダプティブ海洋建築の制度的実現性の検討</li> <li>・アダプティブ海洋建築の試設計の検討</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り		
	小林昭男(主査：日本大学), 岡田智秀(幹事：日本大学) 池尻一仁(大成建設株), 泉裕喜(株UFJ 総合研究所), 荻原みき((社)ニューオフィス推進協議会), 三溝裕之(日本工営株) 増田光一(日本大学), 横内憲久(日本大学),		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	76,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.aij.or.jp/jpn/comm/1.htm">http://www.aij.or.jp/jpn/comm/1.htm</a>	

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 防災に必要な海洋建築物の建設技術の現状が把握された。 2. 広域防災基地に対する海上防災基地の位置付けがほぼ把握された。 3. 都市の課題に対する海洋のニーズの程度がほぼ把握された。
委員会活動の問題点・課題	特になし

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。